

1. 基本方針

新たな制度改正を控え、例年と比較し事務量が増加すると考えられるため、事務の役割・責務を理解し、適切且つ、迅速に手続きや申請、報告等処理していくことを目的に掲げてきた。

社会福祉法人制度改正に伴う法改正は、当法人の定款変更に伴い、諸規程の見直しや新たな規程を設けたり、それらに付随したものを変更しなければならず、例年と比較し事務量がかなり増加したものの、効率的な業務分担することにより、遅滞なく各種申請や報告、登記等の事務処理をすることができたことでは、概ねクリアしたと思われる。

2. 主な内容

① 財源の維持確保

- 適切な予算収支の執行

適切な予算組み立てと無駄な経費を削減してきた。

自分たちでできることは、業者に依存しないことや、役割分担と事務効率を高めることで経費削減に努めてきた。

自分たちでできること = 車両維持関係・登記関係等

役割分担と事務効率を高める = 同様の資料は持たず一つのデータを活用

② 人材確保

- 人材確保に関する広報や呼掛け、居住環境を整備してきた。

人材確保に関する広報や呼掛け = 人材支援、HP、お知らせ版等を活用

居住環境を整備 = 新採用等の職員の居住を3件確保と整備

③ 後方支援の役目を担う

- 制度改正に伴う法改正があっても、各事業所が活動し易いように、サポートをしてきた。
(戸惑うことのないように規程やマニュアル等を整備し、説明も随時行ってきた。)